

基礎教育学会(仮) 改め、 基礎教育保障学会 設立準備会 News Letter

2016年4月 第4号

<基礎教育保障学会 設立準備会事務局>
〒195-8585 町田市金井町 2160 和光大学
社会教育学(岩本陽児)研究室内

Contents

- 1 第5回準備会合報告
(於、福岡大学)
- 2 拡大世話人会議
(於、学びリンク社)
- 3 第6回準備会合報告
(於、徳島市生涯福祉センター)
- 4 今後の日程について

ニューズレター第4号をお届けします。本号では、第5回準備会合、拡大世話人会議、第6回準備会合について報告いたします。

1、第5回準備会合報告(於、福岡大学)

2015年11月8日、福岡大学にて第5回準備会合を開催(詳細はP.2議事録参照)。本会合は、本学会世話人の添田氏(福岡大学)のご配慮により、第2回生活困窮者自立支援全国研究交流大会にあわせて開催されました。交流大会に参加された関本世話人(えんぴつの会)からの報告と合わせて掲載いたします。

第2回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に参加して

関本保孝氏(えんぴつの会)

2015年11月7日、8日の両日、福岡大学にて開催した第2回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に参加した。

大会全体を通じ、行政(国・自治体)、議会(国会・地方議会)、研究者、NPO等が、生活困窮者の支援のために立場の違いを超え、密接な協力関係を持ちながら取り組みを進めていることがわかり、大変感動した。

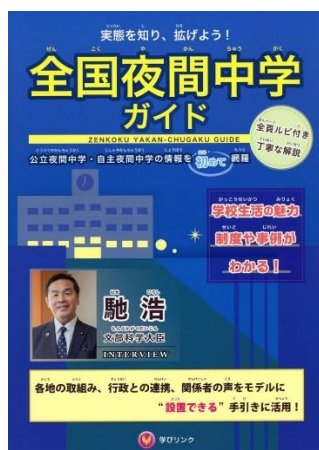
その背景には、「子ども・若者育成支援推進法」(2008年)、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」(2013年)、「生活困窮者自立支援法」(2013年)の三つの法律があげられる。夜間中学の議員立法の必要性がこの点からもうかがえる。

「人を救えないのは制度ではない。滞納を市民生活支援のきっかけとする」(山中善彰野洲市長)、「認知症の人にやさしい町は全ての人にやさしい町。生活困窮者の問題も同様」(大村祐司熊本県長寿社会局長)、「見えてきたことを整理しデータをそろえ予算を獲得することが重要」(厚生労働省年金局鈴木俊彦年金局長)等々、全ての報告者から素晴らしい発言が続いた。

一つ取り組みを紹介すると、高齢化率が43%にも上る秋田県藤野町では引きこもりの若者を”貴重な若者”と位置づけ、お年寄りへの介護支援に参加してもらっている。「町民全てが生涯現役を目指すシステム作り事業」を進めるという話は大変参考になった。夜間中学や基礎教育の推進にとっても大変参考になる“宝のような交流大会”だった。

<お知らせ>

『全国夜間中学ガイド』が
(株)学びリンク社より刊行されました。定価2,000円(税別)、
2016年3月



<http://goo.l/YqFfTx>

＜基礎教育保障学会・第5回準備会合 議事録＞

会場：福岡大学

日時：2015年11月8日

出席者：石井山、草、斎藤、関本、添田、棚田、長岡、藤田、森、9名（敬称略：五十音順）

報告事項：

ニューズレター第3号の発行について（長岡）

国会・文部省等の動向について（関本）

10月24日差別禁止法研究会@東京報告（棚田）資料配付のみ

額田会員から前回準備会勉強会への感想（添田）

全国夜間中学研究会60周年記念事業「全国夜間中学研究会大会史料集成」DVDについて（草）

東大阪市立太平寺中学夜間学級 移転問題について（関本）

文科省通知「形式卒業者の夜間中学への入学について」に関わる説明会実施報告（関本）

審議事項：

前回議事録の承認

設立趣意書案の検討（添田、継続審議）

規約案の検討（野山、継続審議）

32名からなる「呼びかけ人名簿」について確認

電子媒体の広報手段について（藤田、継続審議）

設立総会の会場を国立国語研究所にて開催することを承認（野山代理、関本）

設立総会のPRチラシ（700部）を全夜中研京都大会で配布することを承認した。

今後の準備会の日程と開催地について（関本）、下記の通り承認した。

第6回準備会（2016年2月14日 会場・徳島市生涯福祉センターふれあい健康館）：規約（案）

確認/会場確認/総会内容（案）・・・後援依頼先含む。翌日、教育委員会との懇談

第7回準備会（5月8日 会場・札幌市内）：総会内容確認（プログラム・役割分担他）/役員（案）

第8回準備会（7月10日 会場・東京 立教大学 予定）：総会最終準備

設立総会：2016年8月21日開催（会場・東京立川・国立国語研究所）

学会名称の英文（添田、継続審議）

ニューズレター編集アシスタントの募集（長岡、継続審議）

今後の運営体制（野山、代理で関本）

学会会則、選挙管理委員会会則（添田、2月に提案）

学会誌の規約、査読ルール、査読委員会（継続審議）

科研費からの旅費支弁についての内規づくり（添田、継続審議）

2、第6回準備会合に向けた拡大世話人会報告 (於、学びリンク社)

2016年1月24日、拡大世話人会議を学びリンク社の好意で、同社会議室にて実施しました。会議における議事は下記のとおりです。

参加者（敬称略）：野山、藤田、長岡、難波、見城、庄司、小林、山田、岡田、関本、岩本、添田、棚田（13名）

審議事項

1、規約について

理事会は学会大会の午前中か前日とする。ジャーナル編集委員会、大会・企画委員会、広報委員会の開催。

学会誌のISSN取得について。

会計年度は総会に合わせて8月から一年間とする。

賛助会員については団体を受け入れられるようにすること。

副事務局長の名称を、事務局次長にする。

2、年間スケジュールについて(藤田・岩本)

規約と関連>次回以降継続審議

3、発足時の体制について

(1) 常任理事会：会長1名、副会長3名、事務局長1名、その他1～3名で構成。

(2) 理事会について：原案では岩槻、岩本、上杉、岡田、新矢、関本、添田、長岡、野山、藤田、森、湯澤の12名。今後、東北大学の石井山竜平氏、金沢大学の河合隆平氏、北海道に夜間中学を作る会の工藤慶一氏に加わっていただく。

(3) 委員会について

－ジャーナル編集委員会：岩本委員長、長岡副委員長に決定。

－企画（大会）委員会 本日欠席の岩槻さんを委員長候補とし、別途確認。副委員長を藤田世話人で確定。

－「広報」委員会は事務局の下に置いて「広報担当」とする。研究委員会については、森委員長、新矢副委員長と（本日欠席のため仮に）決定。大会（企画）委員会は幅広くすることで合意。

(4) 顧問について

正・副会長に加え、3人顧問体制とする。顧問を置くという線で合意。

見城、山田泉両氏2名確定。小林文人先生については、野山、関本、（可能であれば石井山）で依頼する。事務局長、事務局次長は関本・添田で調整する。

(5) 年会費・運営費について

年会費については院生を含む学生、生徒会員1000円、特別会員2000円、一般会員を3000円または5000円とする。

4、設立大会(野山・岩本・添田・関本)

(1) プログラム：設立大会のアイデア(野山)

- ・初代会長のあいさつ兼基調提案、+顧問3人の講演、それ以外
- ・学術講演講師の案に対し、呼びかけ人でユネスコダッカ事務所の大安喜一氏のほうが適任と意見があり、帰国中であればお願いすることにした。<長岡担当
- ・顧問3人のうち、1人、または政策・政治の領域からはどうか。
- ・最後に、今後の展望について議論し終了

(2) 設立大会のタイムテーブル

最初に総会 10時~11時。会長の挨拶、所信表明、新役員紹介まで
11時~12時 基調講演①

<昼休み>

13時~基調講演②

14時~シンポジウム

(3) マスコミ対応について(関本)

(4) その他：学会創立大会の入場料金(資料代)の扱いについて。

5、ホームページ(添田)40万円を上限に科研費から支出することを承認。

添田：資料と映像で説明。1月28日に制作会社と打ち合わせ。

スプラウトジャパン社(福岡)に依頼。/ Facebook(藤田)

6、会報(長岡)・学会誌(編集は正・副で岩本・長岡)について。

学会誌は経費節減のためウェブ配信を原則とし、冊子希望者に実費頒布とする。

7、会費(岩本)について 上掲3.(5)の通り。

8、今後の準備会の内容(議題)について(関本、岩本)

- (1) 第6回準備会(徳島市/2月14日)について>岡田先生から「とくしま教師塾」、および翌日の市教委との懇談会日程の説明があり、承認した。
- (2) 第7回準備会(札幌市/5月8日) 遠友塾25年の取り組みについて工藤さん講演についての提案を承認した。
- (3) 第8回準備会(東京/7月10日)は事務事項のみとすることを確認した。

9、大会・企画(第2、第4回目は関西で開くことを確認した)

10、その他(情報提供と意見交換)

- (1) 『夜間中学ガイドブック』(小林)3月上旬刊行。B5版170ページ、2000円。
- (2) 『月刊社会教育』誌の夜間中学連載について(岩本)
- (3) 「夜間中学と教育を語る会」から。去年7月30日に文科省、形式卒業者の受け入れの通知。不登校生徒を教えた経験のある教員と、当事者の話を載せたパンフレットを、鋭意作成中。京都全夜中研大会で報告。(庄司)
- (4) 東京都の定時制高校廃止の件について

3、第6回準備会合報告（於、徳島市生涯福祉センター）

2016年2月14日、徳島市生涯福祉センターにて第6回準備会合を開催（詳細は、P.6の議事録参照）。当日は、会合に先立ち、徳島市教育委員会主催教師塾（映画上映会・講演会）が開催されました。下記は、当日、出席された草氏（元夜間中学教師）による報告です。

「とくしま教師塾スペシャル」に参加して

草 京子（元夜間中学教師）

2月14日（日）第6回基礎教育保障学会準備会に先立って開催された、とくしま教師塾実行委員会、徳島市教委主催の「とくしま教師塾スペシャル」に参加いたしました。

文部科学省はすべての都道府県に一校以上の夜間中学を設置するという方針を打ち出し、夜間中学未設置の道県に対し設置検討の経費を計上しています。それを受け、徳島県では昨年10月に「中学校夜間学級調査研究事業に係る中学校夜間学級協議会」を設置、その第一回協議会に講師として招かれた京都教育大の岡田敏之先生のご助言、仲立ちで、今回の企画が実現したと伺っています。

「教師塾」の第一部は映画「こんばんは」の上映、第二部は森康行監督と見城慶和先生の講演。定員200名の会場は満席で、開会の挨拶に立たれた石井博徳島市教育長のお話、徳島県・市が夜間中学開設に向け積極的に動いておられる原動力を見た思いでした。夜間中学を必要とする人がどんなにしようと、制度がどう整えられようと、それだけでは夜間中学開設には至らない。石井教育長が引用された魯迅の言葉のように、そこに向かって歩く人が多くなればそれが道になる、その道を切り開こうとする強い意志を感じました。それは、全国で初めて公立夜間中学を開設した神戸市立駒ヶ林中学校初代校長の中井順三先生や、文部省の強い反対に遭いながら開設にこぎ着けた足立区立第四中学校初代校長の伊藤泰治先生を彷彿とさせるものでした。

映画「こんばんは」の上映に続く森監督のお話では、1991年に見城先生の講演記録で夜間中学の存在を初めて知って以来、長年この企画を温め、スタッフ一人一人と話して協力を求め、1998年からはカメラを持たずに文花中学に日参して夜間中学生との人間関係を築き、2000年秋からようやく撮影を開始。熱のこもった仕事を伺い、非常に感銘を受けました。また、私は現在、夜間中学の資料をデータ化する作業に携わっていますが、見城先生の講演される姿だけでなく、授業を映像にされたことも、たいへん意義深いと思いました。



石井博徳島市教育委員長を囲んで



徳島教師塾、会場風景

撮影：岩本

＜基礎教育保障学会・第6回準備会合 議事録＞

2月14日（日）17:00～19:00

徳島市生涯福祉センター「ふれあい健康館」2階第1会議室

参加者（自己紹介順）：関本、野山、新矢、山田、岡田、岩本、大谷、見城、添田、森、棚田、草（森、小林・自己紹介のみ）

報告事項

- 1、1月24日拡大世話人会について、開催の経緯と議事メモを紹介した。
- 2、その他
 - (1) 科研費の執行状況について、岩本世話人から、本年度180万円予算をほぼ年度内に消化しそうな見通しであることと、次年度予算が70万円であることが報告された。
 - (2) 『月刊社会教育』連載について、岩本世話人から経過の報告
 - (3) 学びリンク『夜間中学ガイドブック』が、3月中旬の刊行予定
 - (4) 大谷一代さんから、福島情報および、『広報あつぎ』のニーズ調査の大きな記事が紹介された。大谷さんは4市会議でも報告をされた。
 - (5) 3月21日、アクロスあらかわ講演会の案内。
 - (6) あす15日午前、徳島市教委との質問・交流会の開催。
 - (7) 超党派フリースクール議員連盟、12回勉強会の様子について紹介。

審議事項

- 1、前回福岡準備会、議事録を承認した。
- 2、世話人の追加について：関本世話人からの提案をうけ、岡田会員を加え9名体制とすることを承認した。
- 3、規約（2次）案に検討を加えた。必要な修正を加えたものを次回会議で提案し、継続審議とする。英語名称はJapanese Society for the Study of Basic Education and Literaciesで、略称をJASBELに決定した。＜primaryより広い意味でbasic識字を幅広くとらえるからliteraciesと複数とした。＞
- 4、設立大会時の役員候補と、役割分担について：野山世話人からの提案があり、以下のように決した。

顧問 <見城慶和、山田泉、小林文人>

会長 <上杉孝實>

副会長 <森実、岡田、野山>

事務局長 <関本保孝>

事務局次長 <添田祥史>

理事の追加について、岩槻、岩本、上杉、岡田、新矢、関本、添田、長岡、野山、藤田、湯澤各氏に加え、<石井山竜平><工藤慶一>14名の理事を確認した。

<河合隆平さんについては、継続審議とする>

- 5、学会名の英文表記について 上掲3の通り。

6、8月21日午前午後の設立総会・記念大会について

(1) プログラム案 (野山、基調講演については長岡～岩本)

午前中、設立総会 第一講演

第二講演 ディスカッション

ポスター・口頭による学術発表は初年度はなし。ただし、学習者・実践者の出席が重要であることから、ポスター発表等については継続審議とする。

講師候補者との事前打ち合わせ@東京：3月20日(午前)に行うことを確認

(2) 仕事とその分担(野山) 継続審議

(3) アルバイトその他(野山) 継続審議

7、広報について

(1) HP デザイン資料に基づいて、添田世話人から報告。作業に関しては、添田世話人に一任することを確認。文献ガイド、関係機関ガイド、教材コーナーに江口・草、森・棚田、湯澤・添田、日本語教育は新矢・藤田の各氏とする。

ドメイン <http://jasbel.org> とすることを確認した。ロゴは1案を改良していくことを確認した。関連事項：HPの写真素材の提供を依頼する。

(本件、添田世話人が、小林チヒロさんに相談すること。)

(2) ニュースレターについて：アシスタントエディターを置くことを確認した。タイミングについては季刊とする。(長岡～岩本)

(3) フェイスブックについて(藤田～岩本) 継続審議

8、学会誌関連の規定(案) 編集委員会規定、投稿規定、原稿執筆要領は継続審議

9、今後の日程について：岩本から提案があり、以下の日程を承認した。

(1) 第7回札幌準備会(5月8日 日曜)

会場：北海道大学(会議室・定員50名)

12:00～13:00 科研打ち合わせ

13:00～15:00：第7回準備会

15:00～17:00：工藤慶一氏(北海道に夜間中学をつくる会代表)

公開講演・シンポジウム「北海道に学びの場をどう作っていくか」

(2) 第8回東京準備会(7月10日 日曜)、会場：立教大学[予定]

(3) 設立総会、記念大会(8月21日 日曜) 会場：国立国語研究所

(4) 来年の年次大会について

10、その他

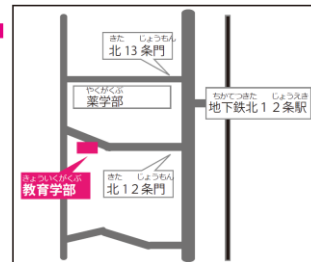
2月25日熊本県教委主催の会議で、岡田世話人が講演を予定している。本日のような映画+講演の話を持ちかけることについて了承した。

3、今後の日程

- ・ 第7回準備会合は、2016年5月8日（日）北海道大学にて開催します。
多くの方々のご参加をお待ちしております。

基礎教育保障学会準備会
5月8日 日
 設立準備会 12:00～15:00
 公開シンポジウム 15:00～17:00

会場
 北海道大学教育学部棟
 3階会議室
 (札幌市北区北11条西7丁目)
 地下鉄北12条駅から徒歩7分
ぜひお気軽にご参加ください!



- ・ 第8回東京準備会合 2016年7月10日（日）、会場：立教大学（予定）
- ・ 基礎教育保障学会設立総会、記念大会 2016年8月21日（日）
会場：国立国語研究所

.....



15日午前、徳島市教委との懇談を終えて 撮影：草



日程が終わった15日午後、「阿波踊り会館」で踊りを表彰されてご機嫌の見城慶和先生 撮影：岩本